

残暑お見舞い申し上げます。今年のアーバンファーム夏の象徴はスイカでした。皆さんにとって2012年の夏はどんな季節だったでしょうか？

アーバンファーム夏休み特別企画『お仕事体験隊』を開催しました！

8月2日、9日の2日間、小中学生の皆さんを対象にアーバンファームのお仕事を体験してもらうイベントを行いました。パソナ農援隊の一員として、私たちが日々行っている業務や作業の一部を体験したり、しおりに沿って植物のお勉強をしました。チャレンジファーム淡路&栃木の野菜につけるポップをオリジナルで作成して、本物のお金を使って販売をするお仕事から始まって、可愛い小玉スイカにジョウロでお水やり、トマトのお部屋で水耕栽培のお勉強、そして普段はSTAFF ONLYの植物工場にこの日は特別隊員として入って収穫の体験、最後は自分たちでとったレタスの試食、と盛りだくさんの内容でした。

4歳のお子さんから中学3年生のお嬢さんまで幅広い年代の皆さんでしたが、それぞれが初めてのお仕事に一生懸命取り組んでくれました。最初は皆な緊張していましたが、体験が終わった後は逞しく誇らしげに見えたのが印象的でした。参加してくれたお子さんから後日、お土産のsproutの種をお家で播いたよ〜写真付きのメールをいただき、農援隊メンバーはとても嬉しかったです。仕事をする大人の責任を感じたり、お父さんお母さんのお仕事に思いを馳せてくれていたら・・・そして植物を好きになるきっかけになっていたら！嬉しいです



アーバンファームのひまわりが咲きました！

夏の花といえばひまわり！今年は珍しい品種を育ててみました。

ゴッホ、モネ、チトニアです。アーバンファームの屋上ガーデンで太陽に向かってたくさん咲いています！

また昨年アーバンファームで育った800本のひまわりから種を採取し、今年は2代目のひまわりに挑戦しました。現在すくすくと育っています

太陽に向かって咲くひまわりからパワーを受けてみてはいかがでしょうか？



BEST SHOT

2F ホップ

2階フロアに新しく「ホップ」が！ビール原料の一つで、雑菌の繁殖を抑え、保存性を高める働きがあるこの植物。日本では主に北海道などの涼しい気候を好むため、東京のど真ん中で「穂花」をつけることは大きな挑戦でした！



暑い夏、見学にいらした方に特に喜ばれるのが1階の超微粒子ミスト。植物は湿度60%以上が適度といわれているのですが、実はオフィスビルの中は乾燥が激しく、条件によっては湿度30%くらいになることも。野菜が乾燥に負けないように、定期的に濡れない程度の霧を発生させています。乾燥すると出やすい病気や虫を防ぐ嬉しい効果も！ミストが無いところは社員が時々葉水をかけています。

WHY?
栽培技術

パソナ農援隊の新しい就農支援！検索ワードは「パソナチャレンジファーム」
<http://www.pasona-nouentai.co.jp/index.html> WEBショップ開設！！

パソナチャレンジファーム

検索

パソナグループ 淡路島に「のじまスコーラ」をオープン！

パソナグループでは兵庫県淡路島にて、廃校となった「旧・野島小学校」を改装し、農業の六次産業化と地域活性を目指す「のじまスコーラ」をオープンしました！

「スコーラ」はイタリア語で「学校」の意味。当時の学校の懐かしい面影も残しながら、「農・食・学・芸」をキーワードに、農産物の加工所やワークショップスペース、旧音楽室を活用した音楽小ホール、レストランやカフェを設け、島内外からたくさんのお客様にお越し頂ける、素敵な施設に生まれ変わりました。

地元の新鮮食材をつかったお料理を、きれいな海と夕日が望める素敵なロケーションでお楽しみいただけます。淡路島へ行かれた際には、是非お立ち寄り下さい！

住所：兵庫県淡路市野島臺浦843 / 電話：0799-82-1820



ご意見・ご感想・見学予約はこちらまで

株式会社パソナ農援隊

〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-4

E-mail: info@pasona-nouentai.co.jp

TEL: 03-6734-1260 / FAX: 03-6734-1269

見学時間：9:00 - 17:30 (土日祝祭日、年末年始を除く)

【アーバンファーム (植栽部門)のおしごと】

《担当箇所》水耕栽培(レタス部門)
 《担当者》北澤智博

《主なお仕事》

レタスを種から水耕栽培で育てて、大きくなったものを会社の食堂に届けています。現在は1日約50株(節電前は約70株)、1週間では約250株も食堂に届けて毎日ランチに呉服橋ビル勤務のスタッフの皆さんに食べて頂いています。パーティーやイベント時にもお出しして、お客様に食べて頂いたりもしています。日常の栽培管理は、水耕栽培装置の溶液の肥料の濃度調整やPH調整が主になります。



レタスの収穫風景

具体的には、計測器で肥料濃度(EC)とPHを計り、肥料を追加したり養液を入替えたりして植物に最適な環境を整えています。もちろん、レタスを目でみて異常がないか、水耕栽培の装置に異常がないかもきちんと確認したり、備品の点検や清掃といった事も行っています。

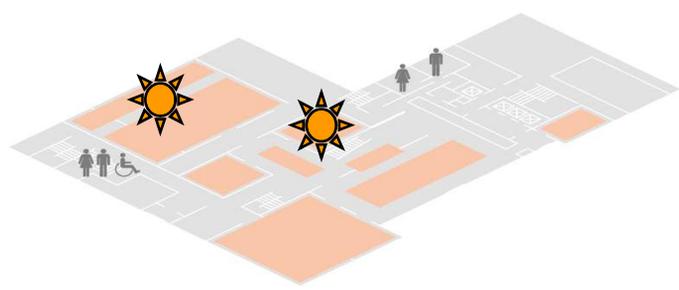
このように、種をまいて芽が出て大きくなってサラダとして皆さんの口に入るまで、環境を整えつつレタスが大きくなるよう手助けをするのが水耕栽培(レタス部門)のお仕事になります。

《お仕事の感想》

アーバンファーム(呉服橋ビル)では、ビル内でレタスを栽培し、ビル内で働くスタッフがそのレタスを食べるという地産地消ならぬビル産ビル消といった環境です。調理する人の顔も、食べる人の顔も分かります。さらに、農業の一手法として生育途中をお客様に見て頂いています。オフィススペースと同じ場所にあるため栽培管理時間に制限はあります。そういった特殊な環境での栽培管理ですが、栽培過程や生産物への消費者の皆さんの反応がすぐ分かるのでとてもやりがいがある仕事です。

これからも、『魅せる』・『食べる』の両立を目指しレタスの成育のお手伝いをしていきます！

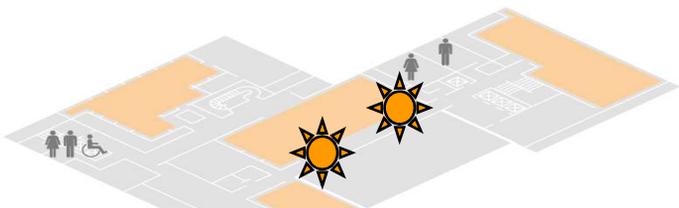
1 F



おすすめ見学ルート

- 受付前からスタート！水耕カボチャを見学
- 天井からぶら下がるキュウリを観察！
- 外から四季折々のバルコニーを観察し、室内へ移動
- 水上ステージで育つ植物を観察！
- 畑を通して LEDの実験観察。
- 応接ルームのおいしいそうなトマトを見ながら
- 植物工場観察をし、階段で2階へ

2 F



おすすめ見学ルート

- 1階からの階段を上って2階へ
- 1階の植物工場を間近に観察！
- 打ち合せ椅子の引出しで育つ種をウォッチ！
- 展示物を見学
- 底面プランターで育つ野菜を観察！
- 天井、ガラスパーテーションに育つたくさん野菜を見学

☀️: 水耕栽培装置(レタス)設置箇所